

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年 ・ 普通学級 ・ 重度・重複学級		担当者名	○岩撫 聡子
教科・領域名		作業学習・紙工班			
ね ら い		(1)仕事の手順を理解して、責任をもって取り組むことができる。 (2)共同作業をとおして、コミュニケーションの力を育て、円滑に仕事をするすることができる。 (3)仕事をとおして達成感や自己有用感を高め、働く喜びを味わう。			
曜日・校時・時間		水曜日・2～5時間目・9:20～12:30 金曜日・2～7時間目・9:20～15:05			
指導場所		紙工室			
年間授業時数		287.2 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	紙工班の仕事を知ろう	16.8	○紙工室の利用の仕方や道具の扱い方、清掃の方法を習得する。 □紙工班の作業内容や道具の整理整頓・清掃、仕事にふさわしい身だしなみについて学ぶ。(知識・技能) ○道具の準備から片付けまでを一人で行い、作業に取り組むことができる。 □道具を正しく使い、再生紙作りに取り組む。(思考・判断・表現)	・再生紙作りの行程表をカード形式で作成することで、複数の行程があることを確認できるようにする。	
5	一人で作業に取り組もう	110.7	【補助線引き】【カッティング】【印付け】【穴あけ】 ○手元をよく見て、安全かつ正確に作業することができる。 ○用具の扱い方を知り、丁寧に作業することができる。 □折れ目に沿ってまっすぐに線を引いたり、指定された位置に正確に印をつけたりすることができる(知識・技能) □完成イメージを理解し、見通しをもって取り組む(主体的に学習に取り組む態度) 【ラミネートはがし】【干し】【取り込み】【紙ちぎり】【ミキサー】 ○ラミネートを丁寧に はがす技能を身につける。 ○はがした紙を干す・取り込むなど工程に沿った作業を行う力を育てる。 ○紙ちぎりを通して、指先の巧緻性・力加減の調整を高める。 ○ミキサーの扱い方を知り、正確に作業をすることができる。 □計量カップ等を用いて、決められた量の水や紙を計測する。(知識・技能) □タイマーを用いて時間を計測し、決められた時間、ミキサーをかける。(知識・技能) 【紙すき・ローラー】 ○用具の扱い方を知り、丁寧な作業を行うことができる。 □片寄らないよう紙漉き枠を水平に引き上げる。(知識・技能) □均等な力でローラーをかけ、水分を抜く。(知識・技能)	・各工程の正しいやり方を手順書や教材、環境設定を工夫することで、分かりやすく示す。個々の実態に応じた作業内容を検討し、支援方法を統一する。 ・ワークトレーニングに取り組む、手指の巧緻性を高める。 ・出来高を確認することで集中力、取り組む姿勢を学んだりする。また実態に応じて、報告、相談などの場面を設けて、正しい言葉遣いや姿勢を経験的に学習できるようにする。 ・指示された時間で休憩をとることで、活動の緩急を意識すると同時に、長時間の作業に心身ともに安定して取り組む経験を積むことができるようにする。	
6					
7					
9					
10	紙工班の仕事を知ろう	23.5	○紙工室の利用の仕方や道具の扱い方、清掃の方法を習得する。 □紙工班の作業内容や道具の整理整頓・清掃、仕事にふさわしい身だしなみについて学ぶ。(知識・技能) ○道具の準備から片付けまでを一人で行い、作業に取り組むことができる。 □道具を正しく使い、再生紙作りに取り組む。(思考・判断・表現)	・再生紙作りの行程表をカード形式で作成することで、複数の行程があることを確認できるようにする。	
11	一人で作業に取り組もう	136.2	【補助線引き】【カッティング】【印付け】【穴あけ】 ○手元をよく見て、安全かつ正確に作業することができる。 ○用具の扱い方を知り、丁寧に作業することができる。 □折れ目に沿ってまっすぐに線を引いたり、指定された位置に正確に印をつけたりすることができる(知識・技能) □完成イメージを理解し、見通しをもって取り組む(主体的に学習に取り組む態度) 【ラミネートはがし】【干し】【取り込み】【紙ちぎり】【ミキサー】 ○ラミネートを丁寧に はがす技能を身につける。 ○はがした紙を干す・取り込むなど工程に沿った作業を行う力を育てる。 ○紙ちぎりを通して、指先の巧緻性・力加減の調整を高める。 ○ミキサーの扱い方を知り、正確に作業をすることができる。 □計量カップ等を用いて、決められた量の水や紙を計測する。(知識・技能) □タイマーを用いて時間を計測し、決められた時間、ミキサーをかける。(知識・技能) 【紙すき・ローラー】 ○用具の扱い方を知り、丁寧な作業を行うことができる。 □片寄らないよう紙漉き枠を水平に引き上げる。(知識・技能) □均等な力でローラーをかけ、水分を抜く。(知識・技能)	・各工程の正しいやり方を手順書や教材、環境設定を工夫することで、分かりやすく示す。個々の実態に応じた作業内容を検討し、支援方法を統一する。 ・ワークトレーニングに取り組む、手指の巧緻性を高める。 ・出来高を確認することで集中力、取り組む姿勢を学んだりする。また実態に応じて、報告、相談などの場面を設けて、正しい言葉遣いや姿勢を経験的に学習できるようにする。 ・指示された時間で休憩をとることで、活動の緩急を意識すると同時に、長時間の作業に心身ともに安定して取り組む経験を積むことができるようにする。	
12					
1					
2					
3					
備考		【全単元共通】 ○作業日誌を記入し、作業の振り返りを行うことができる。 □作業を振り返り、出来高表等を参考にして、できたことや課題について考えることができる。(思考力・判断力) ※年間を通して、挨拶・報告・身だしなみの指導をする。			